



諸泉 定次

## 市民にツケを残す 事業は見直せ

市長

事業費の縮減ができるか考えてやってみよう

**問** 5年後に基金が枯渇する中で、大型事業は見直すべきだ。19億円

の中心市街地活性化事業は地元商店街・地元住民の盛り上がりが必要だ。1億円以下から現在2億6千万円と膨れ上がるスマートインターチェンジより、清水の大型駐車場建設が先だ。

**答** 財政を圧迫する公共下水道事業の見直しと、牛津の14戸だけ優遇の、個別排水事業は不公平行政の象徴で廃止すべきだ。

**答** (市長) 財政問題を考えながら事業を推進する。中心市街地活性化事業は、国のまちづくり三法改正で、非常にい

いチャンスだ。スマートインターチェンジは、交通環境の改善にとどまらず、商業、工業および観光浮揚に繋がる必要不可欠な施策。7年目を迎えてい

平成26年度開設を目標に進める。即効果はないが、長期に見れば有効と思う。清水の駐車場は市単独でなく、国の補助が必要

要。下水道事業もエリアの見直しで、エリア外は市町村設置型の合併浄化槽で計画を進める。

**問** 大型事業が目白押しで、財政見通しを明らかにすべきだ。



▲中心市街地活性化事業の拠点「おぎ元気館」

**答** (市長) 先ほど指摘があった下水道の問題や、いろんな大型事業等々について、事業費を縮減できないか常に考えていきたい。

### その他の質問

○小城市の幼児教育のあり方について

**問** 有料運行になってからおよそ一年が経過した。有料になる前との利用者数の比較は、

**答** (企画課長) 小城市の巡回バスについては2,68

2人の減、三日月町については1,157人の減、牛津町については4,850人の減、広域循環バスについては1,140人の減、芦刈町コミュニティタク



市丸 典夫

## 巡回バスの利用について

市長

小城市にふさわしい公共交通の体系が必要

シーについては1995人の減となっている。

**問** 有料運行になってから利用者数の減少は、大きな問題だと考えるが、そのほかにも問題はな

**答** (企画課長) 利用者数の減という形の中で、利用者の方に聞き取りを行った。利用したい施設にバス停がないという意見、同じ方向に巡回しているのに帰りづらいというふうな意見等もいただいている。

**答** (企画課長) 利用者への減という形の中で、利用者の方に聞き取りを行った。利用したい施設にバス停がないという意見、同じ方向に巡回しているのに帰りづらいというふうな意見等もいただいている。

**問** 本場に市民のニーズに答えているのか。

**答** (企画課長) 利用者への利便性を図っていく。

### その他の質問

○小城市に天下りはないか



▲利用されている巡回バス



松尾 義幸

## 間伐材を搬出して活用せよ

市長 資源として活用を研究したい

**問** 小城市における間伐の現状と整備計画はどうなっているか。

**答** (市長) 保安林を優先的に特定間伐推進事業計画に沿って、佐賀中部森林組合に業務委託して進めている。

間伐材を搬出しても採算割れになるため、切り捨て間伐が主流となっている。今後、小城市では搬出間伐を進めていく。

**問** 切り捨て間伐は、災害にもつながる。小城市内で5年



▲山中に切り捨てられている杉

間に、約150ヘクタールの切り捨て間伐が行われている。切り捨てた杉を活用できないか考えるべきだ。

**答** (市長) 中山間地に埋もれている間伐材

は、一つの資源である。搬出をして工事等や住宅関係に使うか、チップ化してエネルギーとして利用するか、いろいろ使い道はあると思う。逆に小城市の新たな産業創出につながるが一番すばらしいことだと思う。しっかり研究してやっていく。

### その他の質問

- 住宅リフォーム助成制度の創設について
- 樹木の剪定くずのチップ化について
- 道路行政について
- 豪雨災害のその後の対策について



大坪 徳廣

## 小城市の農業政策について

市長 「さがびより」は学校給食に使用したい

**問** 水稻新品種「さがびより」が日本穀物検定協会による2010年度産米、食味ランキングで最上級の特Aに選ばれた。小城市の今後の対応策は。

**答** (市長) たとえば給食関係とか「さがびより」がより多くの皆さんに食してもらおう対策はとっていきたい。

**問** 議案の撤回など職員への執務対応の取組みに問題があり管理職は部下を育てていくべきではない。農業対策と交渉の仕方をつかりと見据えてやっていくのが国の役割であると思う。

**答** (市長) 人の気持ち、心がわかる間柄になるために専門的な研修を受けさせる。管理職であれば日々、職員の目、顔、表情を見、気付いた面があれば声をかけ、気配り、心配りも必要と思う。

### 小城市役所庶務規程について

**問** 議案の撤回など職員への執務対応の取組みに問題があり管理職は部下を育てていくべきではない。農業対策と交渉の仕方をつかりと見据えてやっていくのが国の役割であると思う。

**答** (市長) 国として農業政策に対してどのような対策をとるかもう少し明確に示さないとい

**問** 環太平洋経済連携協定交渉について市長の考えは。



▲さがびより米スターによる検見



西 正博

## HPV検査との併用検診の導入は

市長 実施状況など調査を行い十分検討していく

**問** 子宮頸がん検診の精度向上を図るため、HPV（ヒト・パピローマ・ウイルス）検査との併用検診を佐賀市は導入を決定。検査で陰性の判定が出た方については、3年位検査間隔を空けられるため、検査精度が向上した上に、検診費用の削減にもつながる。小城市も早期の導入を検討すべきと思われるが。

**答** (市長) 6月末には造成工事を完了させ

**問** 即戦力企業誘致基盤整備事業について、進捗状況はどうか。

たい。分譲については、1区画は、牛津町より移転される。他に2社の食品関連の企業より問い合わせを受けている。

**答** (市長) 子宮頸がんワクチン接種については当初の見込みより、ほぼ倍の方が受けられた。健康への関心は非常に高い。他の自治体の併用検診の状況など十分調査し検討をしていく。



▲急がれる交通安全対策 (岩松小付近)

**問** 増加する交通量に、どのような交通安全施策を行い対応するか。

**答** (産業部長) 学童の通行への留意と交通指導員の配置を指導。

**その他の質問** 〇就学援助について



下村 仁司

## 江北芦刈線開通後の牛津芦刈商店街の姿は

市長 行政だけじゃなく民間と一緒に取り組む

**問** 流出する地元購買力をいかに食い止める施策を商工行政としてすべきでは。

直すことが一番。開通後は沿道にサービス業が民間で開発される可能性がある。

**答** (市長) 既にデイスカウント等に客は流れている。セリオを立て

## は 定住促進の取り組み

**問** 定住促進を検討する。小学校の生徒数の減少で学校維持のためには、

**問** 三里、砥川、芦刈地区の定住促進は

**答** (市長) 小学校の存続が危ぶまれる状態である。核家族化により地区外転出を踏まえて定住促進が必要と考える。

**答** (市長) 三地区に限定した定住促進化は人口減の中、地区を担う若い世代の流出を防ぐ必要がある。短・中期的な

**問** 三里、砥川、芦刈地区に定住促進、企業誘致の優遇処置をすべきでは。



江北芦刈線架橋

▲江北芦刈線架橋

聞い合わせ中の一件は、計画を聞いて対応したい。

**答** (市長) 2年前芦刈にノリ関係食品の増築計画があった。問い合わせ中の一件は、計画を聞いて対応したい。



中島 正樹

## 市民平等の 下水道計画を示すべき

市長

早期の市町村設置型事業着手へ  
向け努力する

**問** 下水道事業計画見通しの進捗状況は。

**答** (市長) 市内全体で下水道計画区域は約130ヘクタール縮小する。

**問** 縮小に伴いエリア外となった行政区は。併せてその地区への今後の対応はどうする。

**答** (建設部長) 縮小計画はまだ正式な決定は行っていない段階だ。区域外については、一日でも早く「市町村設置型」事業に取り組めるように努力していく。

スポーツの振興と技術向上のための施設整備

**問**

県内一周駅伝で小城市が初の優勝を遂げるなど市内各種スポーツ競技団体は、高いレベルと実力を兼ね備えている。市として今後、更なる

スポーツの振興を図るため総合運動公園を整備する考えは。

**答**

(市長) 必要性は認識している。財政的問題、市民の機運等々がもつと必要になってくる。



▲初優勝した小城市駅伝チーム

学校給食の整備計画は

**問**

学校給食の方針は。 (教育長) 将来的には市全体のセンター化を行う。

**答**

(市長) 現在地での一年間の実績を検証

**問** 一般廃棄物中継基地建設構想はどうなったか。また、結論までの予定は。

し、議会や地域の方々と十分議論をしていく。また、一年間の検証の問題、設備に向けての問題、ゴミの広域化の問題、そして、君ヶ坂地区につくるとなると、試算で14億円

▲小城市中継センター



という大きな事業費が予想される。そういった状況の中で、どういう方法が一番いいのか、しっかりと検証する必要がある。

## ゴミ中継基地、 結論までの道筋は

光岡 実

市長

実績を検証しその後、議論

清水地区における  
駐車場建設は

**問**

清水は一年を通じてお客を呼べる場所である。その清水における駐車場建設の見通しは。

**答**

(市長) 駐車場の必要性は十分認識しており、国の地域経済対策等の補助がないか模索しながら、計画を再度精査する。

## その他の質問

- 家庭での生ゴミ処理の普及状況とその効果、今後の推進計画
- 農産物直売所について
- 鳥インフルエンザ対応



江島佐知子

教育長

多様なニーズに  
どう応える

地域やボランティアとの市  
民協働が必要

**問** 放課後児童クラブに  
ついては、これまで  
も充実を図ってきたが、

- ①今後の指導員の体制
- ②さらなる時間延長や4  
年生の受入など多様化す  
るニーズへの対応は。

**答** (教育長) ①各クラ  
ブのリーダーとその  
補佐を嘱託職員で配置、  
それ以外の指導員は23年  
度は臨時職員で対応。安  
定した体制づくりについ  
ては今後も検討が必要。

②費用の問題もあり、現  
状でいきたい。課題解決  
に向けては地域やボラン  
ティアの協力も欠かせな  
い。教育委員会としても  
組織づくりへ一歩踏み出  
す。

観光の振興に向けて  
体制の強化を

**問** ①観光イベントの運  
営は実行委員会を強  
化して行うべ  
きでは。

②観光協会は  
法人化して一  
年になるが、  
今後のあり方  
のついて。

**答** (市長)  
①関連団  
体などからは、  
得意分野で協  
力を得ている。  
市職員の応援  
も受けながら  
中心は担当課  
が責任を持つ。



▲放課後児童クラブ

②現在は商工観光課内で  
連携して運営している。  
独立運営できるような強  
化に向けて検討していく。



岸川 英樹

市長

総合計画での  
23年度予算の考えは

財政状況も考え計画を進めたい

**問** 幹線道路の整備。そ  
して健康、福祉日本  
一を目指すまづくり。

農業政策の取り組み。農  
業基盤整備等、今までの  
効果と課題について、23  
年度予算はどう考えて  
いるのか。

**答** (市長) 幹線道路は、  
県道小城牛津線、県  
道小城富士線、県道の牛  
津芦刈線、国道444号  
線の整備を促進している。  
市道の整備の方法も財政  
状況も考えて進めていく。

健康増進関係では22年  
度から子宮頸がんワクチ  
ンの接種を早く取り入れ、  
今年度は高齢者の肺炎球  
菌ワクチンの接種の補助  
また、市民の皆さん方に

健康意識を  
持つて受診し  
やすい体制を  
確立したい。

農業政策で  
は、耕作放棄  
地の解消に向  
けた再生事業  
を進め、小城  
の農業ブラン  
ドの研究をし  
ながら確立し、  
販売について  
も率先してP  
Rに努める。

県営地盤沈  
下対策事業で  
28年まで3本  
水路整備予定。



▲クリーク防災事業

生産基盤の暗渠排水対策  
については、23年度予算  
として一地区200万円

以上で国の50%補助事業  
を、市内100ヘクター  
ルぐらい実施をしたい。



岸川 弘文

### 人口減少社会と 集落活性化対策は

市長

CSO「ようこそ」で婚活を支援する

**問** 国勢調査の結果を踏まえ、人口動態を見るとほぼ横ばいではあるが、集落別には人口激減集落と増加集落の落差が鮮明になっている。人口減少集落は、特に高齢化率が高く相乗関係にあり、人口減少の原因と集落へどんな影響を与え、その活性化への対策はどうす

るのか。

**答**

(市長) 校区別には15年間で、三里校区15・23%、芦刈校区12・20%が減少し、その他の校区は増加。人口減少の原因には、出生率の低下と未婚者の増大がある。その結果、労働力不足、地域文化伝統の継承の困

### 江里口しゅうじの めざす未来

- >>>スローライフで、新しい小町の魅力を創造。  
小町には、都会にはないよさがあります。「癒し」や「自然」の素晴らしい小町をアピールし、ふるさとに活力をもたらします。
- >>>企業誘致で雇用と経済を促進!  
佐賀で一番最初に不況から脱出できるよう自らトップセールスマンとして企業誘致。小城市全体で300名の新規雇用を目指します。
- >>>しゅうじ一貫して、行政改革!  
1期4年間で進めてきた行政改革を引き続き進展!無駄のない効率的な行政運営を行います。
- >>>農業の新ブランドの確立。  
耕作放棄地の再生整備に取り組み小城市ブランドとしての農産物を確立します。
- >>>住みたくなるまち「小城」の推進!  
小城は住環境のよい魅力あふれる場所。特に芦刈地区や三里、坂川地区の定住促進を図り、暮らしの活気あふれる街にします。

▲市民との約束マニフェスト

### 早く現場に下ろせ

**問**

マニフェストに掲げた市民との約束ごとは、早く実行すべきであるが。

**答**

(市長) 市民に対する約束事と認識し、2期目は5つの公約を掲げ、任期中に達成する。



樋渡 邦美

### 住みやすさは 合格点というがなぜか

市長

地理的な条件、伝統や文化を重じる風土

**問**

市長の平成23年度施政方針の中身、内容について尋ねる。

①小城市の土地利用計画の策定の根拠は。

②スマートインターチェンジ事業の必要性は。

③福祉日本一を目指すというが現在全国何番目か。

④教育施設の整備の中で通学路の整備も必要では。

⑤農林水産業の若い担い手を確保する施策は。

⑥本庁舎移転後の残り三庁舎の利活用は。

行う。

②観光浮揚や街の活性化に大きく貢献できる。

(福祉部長) ③全国で統一したランキングはない。小城市の将来像を実現するための施策。

(教育長) ④保護者、学校、子どもとの安全確保推進委員会検証しながら誠意を持って対応していく。

(市長) ⑤担い手確保は大変大きな問題であると感じている。専門家と知恵を出し合う。

(市長) ⑥小



▲跡地利用が決定していない牛津庁舎



▲下水道三日月浄化センター

**問** 旧小城市内に下水道工事の看板はいつ頃から

**答** (市長) 小城市の汚水を受け入れていただく地元のご理解が得られてから計画を発表する。

**問** 小城市処理区の変更では、130ヘクタール縮小する計画であるが、なぜエリアを発表できないか。

**答** (市長) 小城市処理区内で浄化センターの処理場の理解ができなかった点と、小城市下水道処理計画の変更に伴い、道処理計画の変更に伴い、牛津、三日月の処理場に分散する事が、一番効率という結果になり、現在調整中である。

**その他の質問**  
○職員に対する対応について

その他の質問

**問** 工業団地に係る経費は分譲価格に反映しているという事で、理解しているのか。  
**答** (市長) 根拠を持った価格を設定して、議会上程する。

即戦力企業誘致について

**答** (建設部長) 約4年後に、看板設置ではないかと考えています。



北島 文孝

小城市処理区の下水道事業の経緯は

市長 処理場の変更とエリアの見直しを行っている



▲開票風景

**問** 選挙の開票には時間がかかるものと思いがちでは。過去の選挙の実績は。  
**答** (選管事務局長) 平成22年参議院選挙は



香月チエミ

開票スピードアップで経費削減を

市長 やる 正確性を確保し、さらに迅速に

**問** 例代表では、全国951市区中724位、5時間26分だった。  
**答** スピード、コスト、効率性アップの取り組みはどうしているか。

**答** (市長) 先進市町の事例を参考にし、開票の人の流れ、服装や靴、計数機の導入、作業台調整、疑問票についてのマニュアル作成などやっている。

**問** 改善運動の意義は職員意識改革。時間短縮や、コスト削減の明確な目標設定を。  
**答** (市長) 極力対応してやっていく。

パソコン仕様の検証

**問** 小・中学校のパソコン整備で、顔認証システムが導入されているが、その必要性があるか。  
**答** (教育長) セキュリティ確保と、スムーズに授業に入っている運用のしやすさで有用性があると思う。



上瀧 政登

## 牛津町内の 市営住宅はどうする

市長

住宅マスタープラン  
において進める

**問** 住宅マスタープラン  
のとらえ方やそのあ  
り方、そこに住まれる  
住民の利便性等、どうと  
らえているのか。

**答** (市長) 平成19年に  
策定したマスタープ  
ランでは、牛津町内4カ  
所の市営住宅について老  
朽化や借地の問題等も

やすいように、公民館活  
動を活発にするためには  
どうすべきか。

**答** (教育長) 公民館は  
生涯学習、社会教育  
の拠点としてその地域の  
情報発信基地としての役  
割がある。地域住民の接  
点として非常に大事なも  
のと考えているが県内  
は地域運営協議会にゆた  
ねたりして対応している  
所もある。教育委員会  
でも考えていく必要がある。  
また職員の社会教育主事  
等の専門性を高める研修  
等には補助をしていく。



▶老朽化した市営住宅

**問** 公民館は  
市民・町  
民にとって身  
近な存在で、  
もっと利用し

**問** 市内農地の内、11・  
7%に当たる477  
万1千㎡(東京ドーム1  
02個分)が耕作放棄地  
となっている。せめて、  
すぐに普及可能な農地、  
3万7千㎡の放棄地から  
だけでも稼ぎを生み出す  
手だてを講ずべきではな  
いか。この際、大胆な発  
想の転換を図り、ハゼ・  
漆・桑などの新しい作付  
けに、5〜10年位の中長  
期目標を掲げ取り組まれ  
てみては。国の補助を活  
用し、市民の提案募集や  
モデル地区の選定などで  
耕作意欲を喚起しながら  
行政と市民が一体となっ  
て本気に向き合うべきで  
はないか。



富永 正樹

## これ以上放置するな 耕作放棄地

市長

着実に一歩一歩、耕作放棄地再  
生に取り組む

**答** (市長) 作物を作っ  
て放棄地の再生を  
やってはいるが、大変な  
ご苦労がある。考えなけ  
ればならないのは、生産  
から流通ま  
でを確立し  
て生産意欲  
を高めるこ  
と。漆・桑  
などが生産  
から流通ま  
で確立でき  
るようであ  
ればいいと  
思うが、  
しっかり研  
究する必要  
がある。

**その他の質問**  
○人材誘致条例につ  
いて



▲もったいない宝の山 (小城町三里地区)



深川 高志

## 子宮頸がん予防接種の 実施状況は

市長

今後については必要性があると思ってる

**問** 小城市は、平成22年度より全国でもいち早く子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成に取り組んできたが、小城市がこの事業に取り組んだ経緯とこれまでの実施状況及び平成24年以降の事業取り組みをどうするのか。

**答** (健康増進課長) 九州ではいち早く事業を実施し、大きな反響を呼んだ、平成22年度は、中学2年生と3年生の女子に対して、一回当たり、半額程度の7,500円を補助した。小城市では、30%の接種率で予算を考えていたが昨年12月補正で予算増額し、約6割の方が受け、思った以上に

反響が大きかった。子宮頸がん検診とこの予防ワクチンを合わせることによって母体を守られて、少子化対策にも貢献できれば大変意義があるという事で対応した。

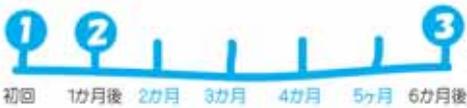
(市長) 今回、国が助成することで、ほとんどの市町が全額補助に向けて動いている状況である。今後のあり方については、検討していく。

### その他の質問

○スマートインターチェ

### ワクチンは3回接種します

初回、1カ月後、6カ月後の合計3回の接種が必要です。3回接種することで十分な効果が得られるため、きちんと、3回接種することが大切です。



○企業誘致の考えについ

て

ンジ事業について

**問** 環境保全公共下水道事業の中で三日月処理区では区域、区域外と同じ集落の中であるが、その実態は、三ヶ島20戸、島溝14戸、四条1戸となっている。どうしてこんな事が起きるのか。また三日月浄化センターの建設工事、設備工事の場合、江口集落はもとより金田集落にも説明が必要ではないか。

**答** (市長) 国の作業マニュアルがあり経済性と効率性を重視して区域を定めなければならぬとあり、下水道の整備、合併処理浄化槽での整備を比較することになる。集落の固まりが小さい、



樋渡 利光

## 同一集落での区域、 区域外とは

市長

経済性と効率性を重視した区分けとなる

離れているなど下水道管を埋設して下水道に接続するより合併処理浄化槽のほうが経済的となり下水道区域から外れる。小城市の中でそういう集落が多くある。

### わかりやすい説明を

**問** 今回、農地・水保全管理支払交付金の説明はあったが、参加者の理解は。

**答** (産業部長) 今回の向上活動支援は業者委託も可能となり施設を20年から40年程度に延命する高度な事業もできる。

### その他の質問

○市の公用車に広告を



▲浄化槽本体